

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：歯科衛生学科 名前：上浦 環 作成日：2026年1月30日

1. 教育の責任

歯科衛生士養成課程において、専門職として求められる基礎的知識と判断力を備えた人材の育成を教育上の責任とする。
あわせて、学生が学修の積み重ねを通して自己の進路を主体的に捉え、将来の職業生活を見据えて成長していくための基盤形成を担う。

2. 教育の理念

歯科衛生士教育においては、知識や技術の修得にとどまらず、対象者を理解し、自ら考えて行動できる力を育てることが重要であると
考えている。授業では、学生が自身の学びを振り返り、気づきや考えを言葉にする過程を大切にしている。
また、歯科衛生士として専門性を発揮しながら働き続けるための基盤として、キャリア教育の視点を授業の中に取り入れている。

3. 教育の方法

講義では、教科書の内容を基礎としながら、歯科保健指導や地域歯科保健の実際を踏まえた説明を行い、学生が学習内容を具体的にイメージできるよう工夫している。知識を一方向的に伝えるのではなく、「なぜその考え方が必要なのか」「現場ではどのように活用されるのか」を意識させ、理解が深まるよう心がけている。
また、授業の中でグループワークを取り入れ、学生同士が意見を出し合いながら考える機会を設けている。意見交換を通して多様な視点に触れることで、自身の考えを整理し、学習内容をより深く捉えられるよう支援している。
さらに、学習の節目ごとに振り返りの時間を設け、学んだ内容や気づきを言語化させることで、学習の定着につなげている。振り返りでは、理解できた点だけでなく、難しかった点や疑問点にも目を向けさせ、次の学習や実習に生かせるよう指導している。
これらの取り組みを通して、学生が自ら考え、判断しながら学習を進めていく姿勢を身につけられるよう意識している。

4. 教育の成果

授業を通して、学生が歯科保健指導の意義や歯科衛生士の役割を、具体的な場面と結びつけて捉えられるようになってきている。
また、グループワークや振り返りを重ねることで、自身の考えや学びを言葉で整理し、次の学習や実習に生かそうとする姿勢が見られるようになってきている。

5. 改善への努力と今後の目標

授業アンケートや学生の振り返りをもとに、授業内容や進め方について継続的な見直しを行っている。
今後は、地域や学校との連携を通じた教育実践をさらに充実させ、歯科衛生士の専門性や社会的役割をより実感できる学びの場を提供していきたい。

【添付資料】

なし